

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスセンター「ゆうゆう」 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	7年 1月 10日 ～ 7年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	7年1 月 10日 ～ 7年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	7年2 月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内は広い、施設周辺は、車通りも少ないまた山道など自然豊かな環境の中にある	散歩を取り入れ地域との交流の場になっている、自然の中を歩き四季を感じることができる。 竹田市内にある公園や図書館など地域と触れあう機会を設けている	職員間で連携し事故に気を付け環境を生かした活動を取り入れていきたい
2	事業所が高齢者施設との併設なので高齢者との交流が季節の行事ごとにできる	季節の行事を計画し交流の機会を持つようにしている	色々な人と触れ合うことで社会性や人間関係、コミュニケーションが高められ、成功体験につながるように工夫する
3	職員の人数も利用人数に対して十分足りていることで細やかな支援が可能	充実した職員配置で幼児一人ひとりに寄り添い安心安全を基盤に支援を行うようにしている 職員間で日々振り返りを行い細かい情報を共有することを心がけている	個々の発達段階を見極め計画に沿った支援につながるよう支援者間で話し合い取り組んでいく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上、2階ということで階段の昇降で不便をかけてしまう。	既存の建物を利用しているためハード面については修繕できないところがある、階段は、バリアフリーとはえない	昇降が困難な児童には事業所本体にあるエレベーターを使い並行移動できるようにしている。
2	非常災害について保護者への周知ができていない	自己評価でわからないといった意見が聞かれた	日頃取り組んでいる内容などを通信などで発信し非常災害について保護者に周知する
3	保護者会を開催できていない	日頃の業務で手一杯になり保護者会を後回しにする状況が起きている。	自己評価でも意見をいただいているので年1の開催に向けて計画し取り組んでいくようにする